

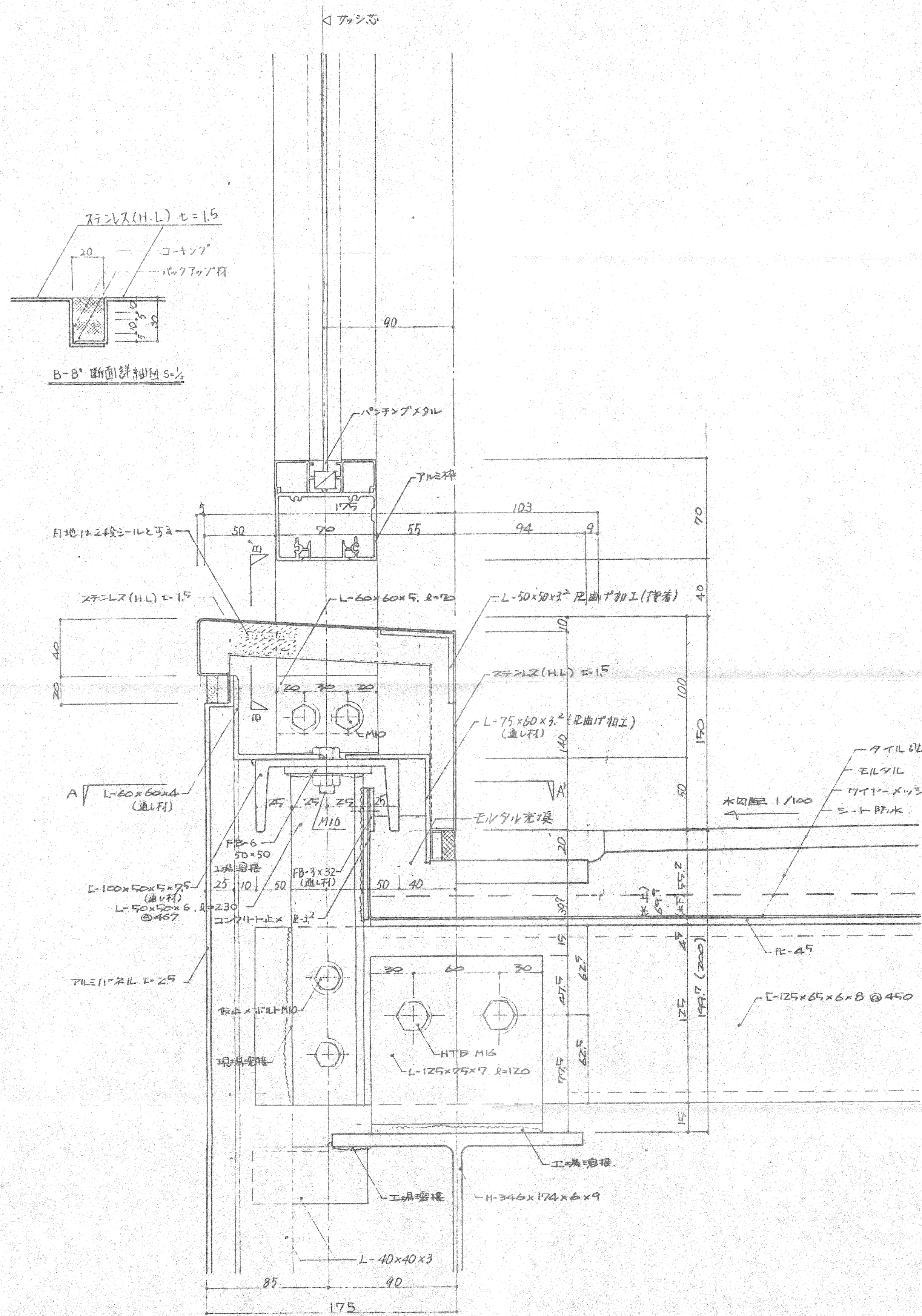
\* 4189.4R 12 現場溶接

右方向大梁図、及び軒柱図の断面詳細図 S=1/2

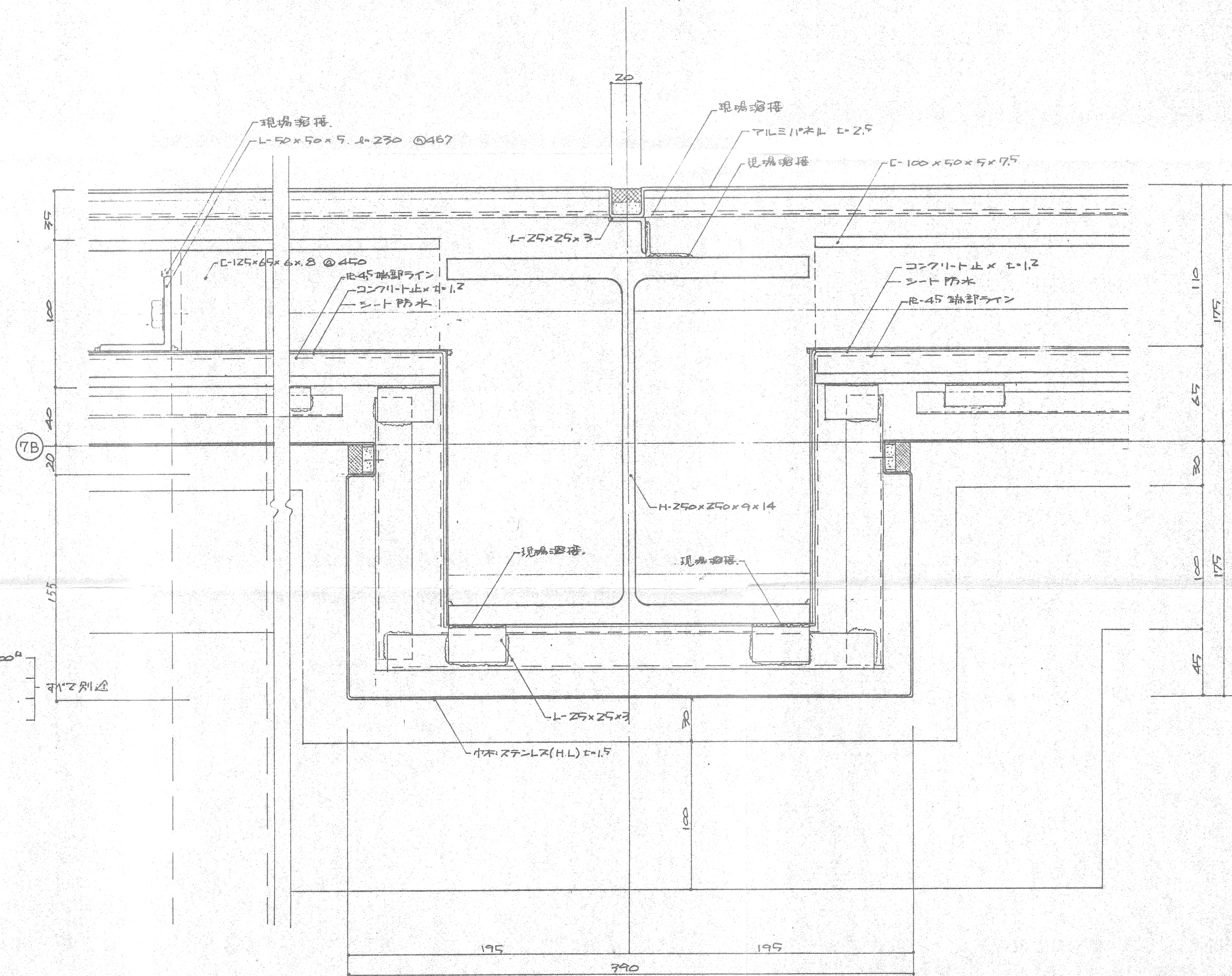
4189.4R  
右方向最上部側面図 S=1/2

4189.4R  
右方向最上部断面図 S=1/2

工事件名	府中駅北口歩行者用人工地盤設置工事			
工事箇所	府中市 府中町 一丁目 100番			
図面名称	竣工図	縮尺	1/2	図面番号 206
	グリーンプラザ南側通路 詳細図 1	尺		



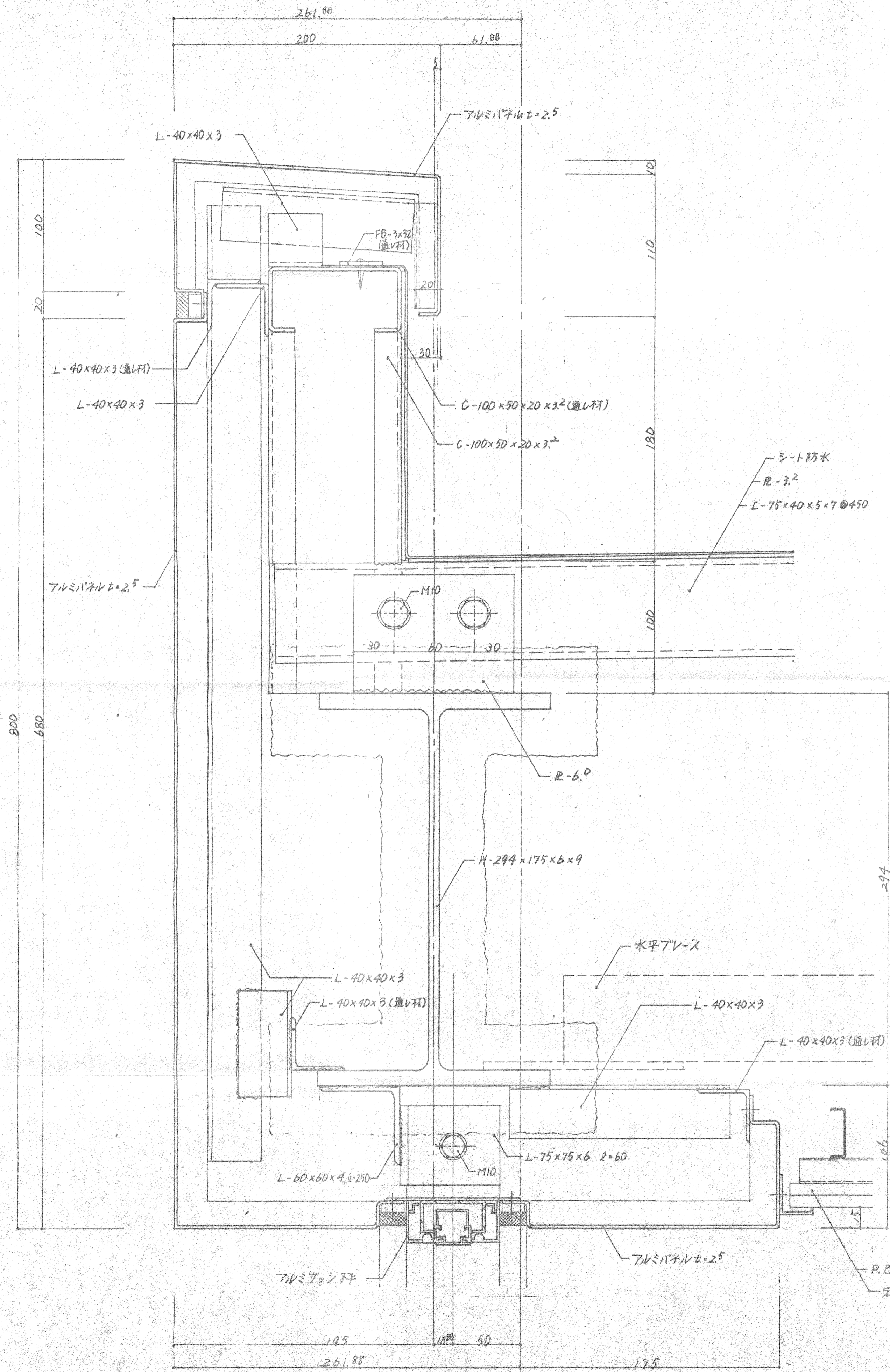
B-B' 断面詳細図 5-1/2 \*( )内数値はIFLに対する垂直寸法



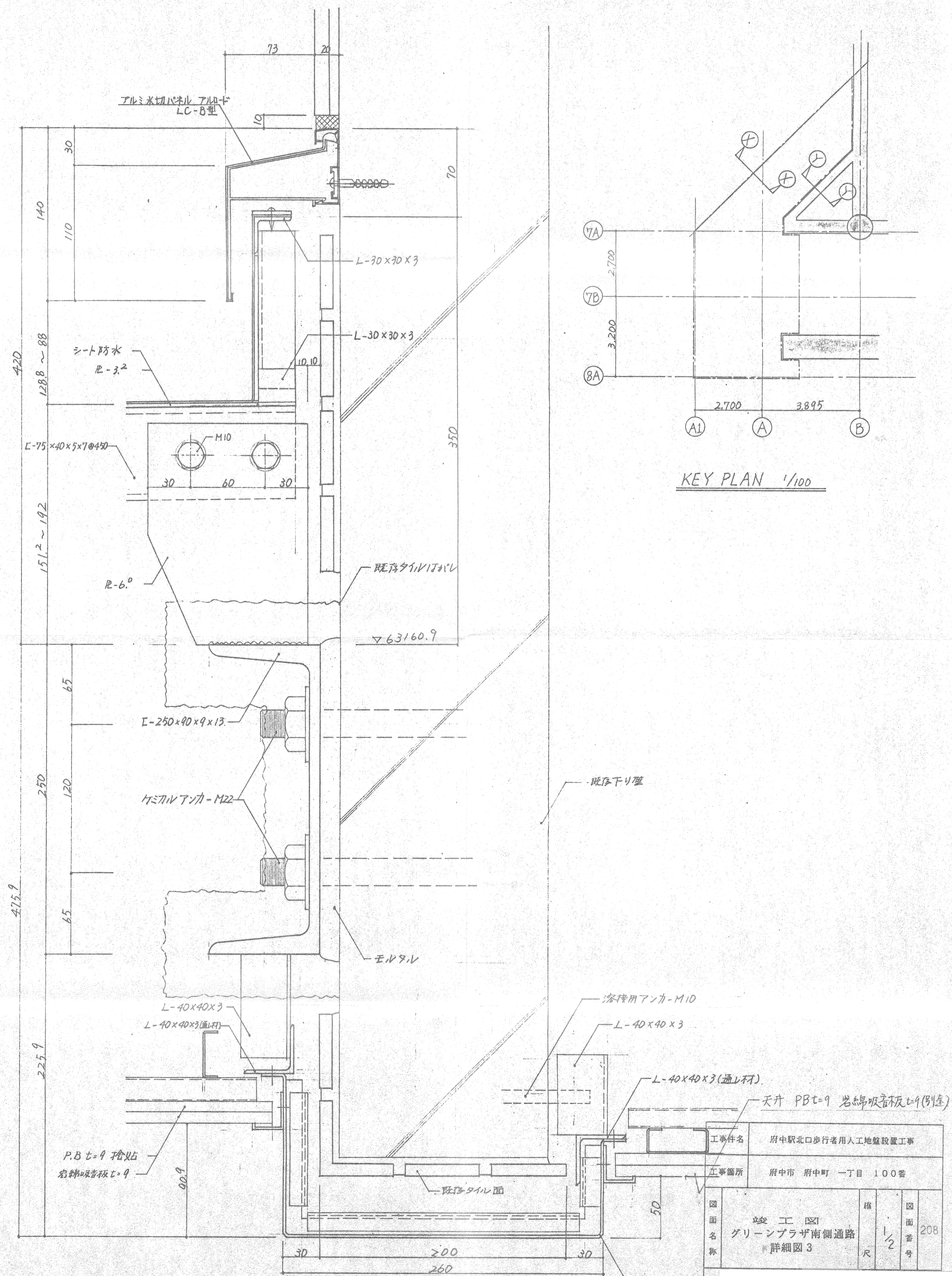
A-A' 柱目断面詳細図 5-1/2

\*特記部分は現場溶接

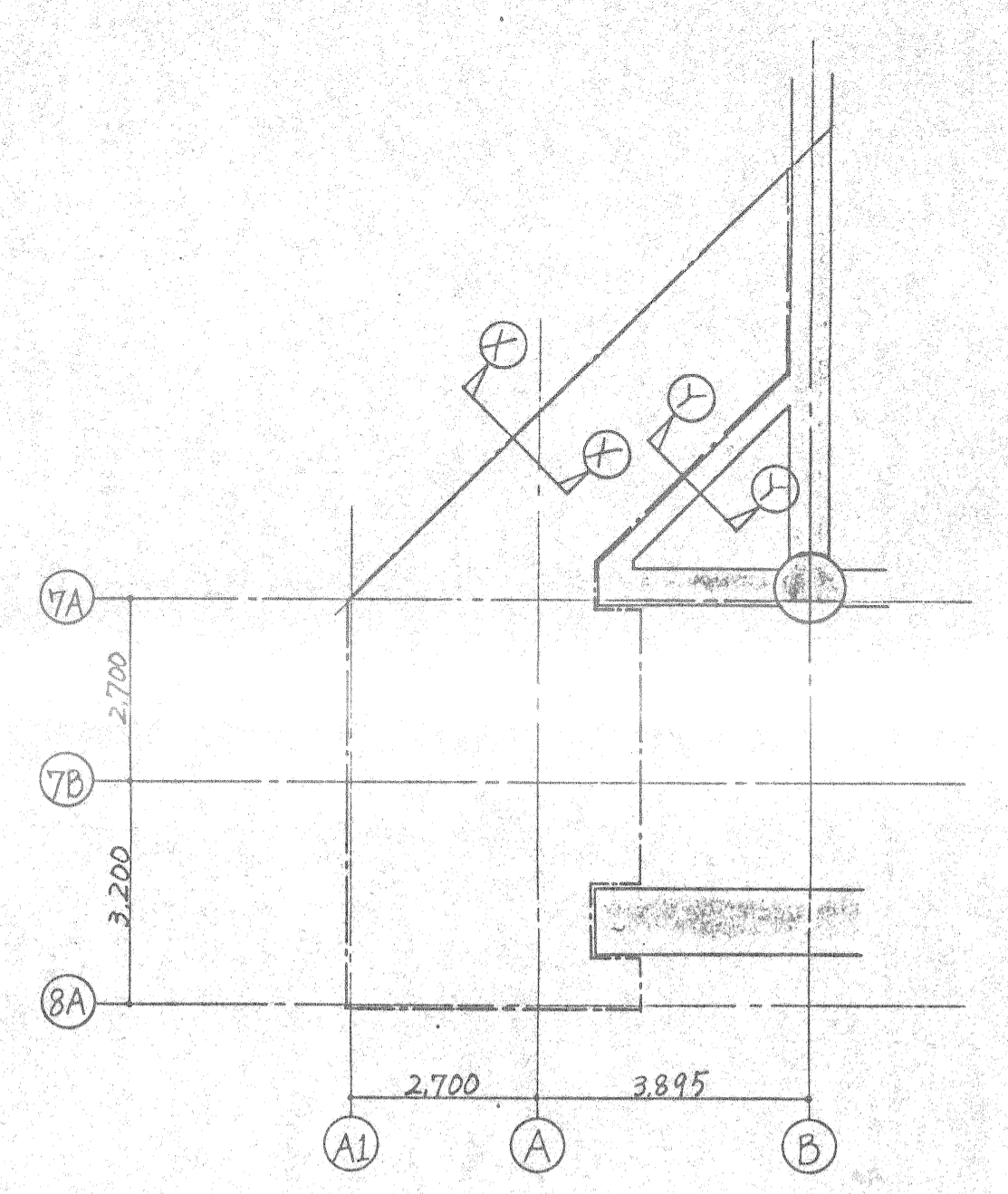
工事名称	府中駅北口歩行者用人工地盤設置工事		
工事箇所	府中市 府中町一丁目 100番		
図面名称	竣工図	縮尺	図面番号 207
	グリーンプラザ南側通路 詳細図 2	1/2	



④~⑤ 断面詳細図 1/2



⑥~⑦ 断面詳細図 1/2



KEY PLAN 1/100

工事件名	府中駅北口歩行者用人工地盤設置工事
工事箇所	府中市 府中町 一丁目 100番
図面名称	竣工図 グリーンプラザ南側通路 詳細図 3
図面番号	208
縮尺	1/2

代

地業工事

砂・砂利・割り石・捨てコンクリート地業

Table with columns: 地業種別, 厚さ, 施工範囲. Rows include 砂利地業, 割り石地業, 捨てコンクリート地業.

○ 捨てコンクリートの設計基準強度は150kg/cm<sup>2</sup> スランプは15cmとする。

○ 直接基礎の許容地耐力

Table with columns: 基礎の掘入れ深さ, 支持地盤の土質, 長期(短期)許容地耐力, 備考. Rows for SGL- m.

既製コンクリート杭地業・鋼杭地業

Table with columns: 杭種, 径・杭長, 杭先位置, 長期(短期)許容耐力, 備考. Rows for SGL- m.

- 杭の設置工法は( )とする。
○ 杭の先端部形状は( )とする。
○ 杭先掘の掘入れの基準は( )とし、地盤の状況・杭の施工状況などにより上記杭先位置を変更することがある。ただし、杭長1m以内の増減については計算しない。
○ ヤマトコの使用は(3m・ )まで可とする。なお、打撃工法の場合の支持力算定式の係数は(20%・ )とする。

その他の地業

杭の施工試験(杭打ち試験・掘削試験等)(有・無)

- 図示または係員の指示する場所( )箇所行う。
○ 試験杭の長さは本杭+( )mとする。

杭の載荷試験(鉛直・水平・引抜き)(有・無)

- 杭底部の沈下は(設計値・ )を示す。
○ 試験杭の仕様は( )とする。
○ 最大載荷荷重は( )、載荷段間は( )とする。
○ 反力は( )による。

地盤の載荷試験(有・無)

- 図示または係員の指示する場所( )箇所行う。
○ 最大載荷荷重は( )または( )/m<sup>2</sup>載荷段間は( )とする。
○ 反力は( )による。

鉄筋・コンクリート工事

鉄筋等 JIS規格品とする。

Table with columns: 種類, 記号, 呼び名(径), 使用区分, 継手, 備考. Rows include 異形棒鋼, 溶接金鋼, 鉄筋格子.

○ ガス圧接工に従事する圧接工は、JIS Z 3881による(2・ )種有資格者とする。

○ ガス圧接する鉄筋は同一製造所のもを原則とする。

型枠

- 化粧打設しコンクリート用せき板は(樹脂塗装合板・普通型枠合板)を用いる。

コンクリート

コンクリート番号に○印を付したものは、標準仕様書によらず、下表の別記事項のみを規定する。また「印は「規定せず」を示す。

Table with columns: 番号, 種類, 設計基準強度, 所要スランプ, 単位水量, 使用区分, 備考. Row 1: 普通, 210, 18, 185, 躯体コンクリート.

- セメントは(普通ポルトランドセメント・ )を使用する。
○ 番号( 1 )のコンクリートにはA型減水剤(1種・ )を使用する。
○ 番号( )のコンクリートは、原則として温度補正を不要とする。
○ 高性能A型減水剤の使用(有・無)
・ 使用範囲はコンクリート番号( )とし基準率または基準量はA型減水剤と比べ(4~5%)または(8~10kg/m<sup>3</sup>)減とする。
・ 通常の試し練りの他、捨てコンクリート等を利用して実練試験を行う。

運搬および打込み

- コンクリートポンプによる圧送を行う者は、コンクリート圧送施工職能士1級又は2級の技能を有する者とする。
○ コンクリート打込みに際し、その品質管理のため(主任技術者・ )は必ず立ち会わなければならない。
○ コンクリート打込み量は(30・ )m<sup>3</sup>/時間・台 以内とする。ただし(基礎スラブ・基礎梁・ )は(40・ )m<sup>3</sup>/時間・台 以内とする。
○ 外部振動機(型枠バイブレータ)の使用(有・無) 使用範囲( )

検査および試験

下記の○印の検査を行う。

Table with columns: 検査項目, 試験項目, 備考. Rows include 鉄筋 #2, 溶接金鋼・鉄筋格子, セメント, 砂, 砕石・砂利, 化学混和剤, 鉄筋の加工および組立ての検査, 圧接工の技量検定付加試験, 試し練り検査, 荷卸し地点のコンクリート検査, 打込み地点のコンクリート検査, コンクリート打上り検査.

鉄骨工事

鋼材 JIS規格品とする。

Table with columns: 品名, 使用鋼材の名称, 備考. Rows include SS400, STK400, SSC400.

- SM490Aの電炉産鋼を使用する場合は下記による。
・ 板厚は30mm未満、板幅は300mm以下とする。
・ 使用鋼材は原則として採取による成分分析を行ない、下表の化学成分を満足することを確保する。(X)
Table with columns: C, Si, Mn, P, S, Cu, Cr, Sn.
・ 機械的性質確認試験(有・無) JISの値を満足することを確保する。
・ 成分分析および機械的性質確認試験(引張強さ、引張強さ、伸び)を行う場合の採取ロットの単位は板厚、板幅毎に50tを1単位とし試験体数は3個とする。ただし1ロットが10tに満たない場合には、係員と協議の上を省略することとする。

高力ボルト

下記の○印の高力ボルトを使用する。

Table with columns: 名称, 高力ボルトの種類, 呼び名, トルク係数, 備考. Rows include JIS系高力ボルト, トルシア形高力ボルト, 溶融亜鉛めっき高力ボルト.

- 高力ボルトの製品検査は JIS B 1186 の規定により行う。ただし、製造所の品質管理が、JISの規定によって十分に管理されていることが確認された場合は、係員の指示により試験の種類・本数を適宜に減らすことができる。
○ 摩擦面の処理は すべり係数が 0.45 以上となるように行う。ただし溶融めっき高力ボルトを使用する部分は 0.40以上とする。
○ 摩擦面のすべり係数確認試験(有・無) ただし、溶融亜鉛めっき高力ボルト使用の場合は行う。試験は現場での施工条件に適合する試験片で行う。

ボルト・ナット・座金およびアンカーボルト

Table with columns: 名称, 品名, 呼び名, 備考. Rows include ボルト・ナット・座金, アンカーボルト・ナット・座金.

○ ボルト座金の場合、ボルト頭およびナット下に各1枚座金を使用する。

スタッド JIS規格品とする。

Table with columns: 名称, 呼び名, 形状・寸法, 備考. Row: 鋼付スタッド.

仮組立(有・無)

- 仮組立の範囲は( )とする。

溶接工の技量検定付加試験(有・無)

- 試験要領は、追加仕様書「溶接工技量検定付加試験 標準仕様書」による。
○ 受検する人数は製作トン数・製作工程等を勘案し決める。
○ 受検者は下向き印の試験を受検し全て合格しなければならない。また本工事で作業をする溶接方法(手溶接か半自動溶接)は、溶接工技量検定付加試験で合格した溶接方法と同じでなければならない。

下記の○印の試験を行う。

Table with columns: 種別, 試験片材の材質, 備考. Rows include A種, B種, C種(1及び2).

- 試験に使用する溶接棒または溶ワイヤは、本工事に使用するものと同一とする。
○ 本工事で特殊タイプを使用する場合は、技量付加試験を追加する。その場合溶接要領は下向きを原則とする。

溶接部の超音波探傷検査

- 標準仕様書A・5・3・a項の超音波探傷検査を実施する技術者は、C1W(日本溶接協会溶接技量検定委員会)で認定を受け本事業所に所属する主任試験技術者または試験技師とする。
○ 上記検査事業所は、元請り業者負担の発注とする。
○ 採取率は、(10・ )%以上とする。採取方法は1箇所とし、検査ロットは溶接部位毎に構成し、1検査ロットの溶接箇所数を300個程度とする。採取方法はランダムサンプリング方法を原則とする。

防錆塗装

○ 防錆塗装(有・無)

Table with columns: 仕様, 素地ごしらえの種類, 錆止め塗料(工場塗料), 塗料区分. Rows 1, 2.

- 高力ボルト接合部、および現場溶接部の補修塗装は、上記と同等の性能となるよう施工のこと。
○ 上記防錆塗装で無の場合でも、設置設置用スリーブの内面には塗装仕様1を行う。

Form with fields: 工事件名, 工事箇所, 図面名称, 図面番号, 尺, 209.